



産学・地域連携推進機構

知財部門ニュース

2007年9月1日

(第6号) [通番 35号]

発行：鳥取大学

産学・地域連携推進機構

知的財産管理運用部門

(旧知的財産センター)

電話：0857-31-6000(内 2765)

目次

| | |
|---------------------------|-----|
| 9月の特許相談会 | 1 |
| イノベーション・ジャパン 2007・大学見本市開催 | 2 |
| 知的財産セミナー開催(学内) | 3 |
| 知的財産権制度説明会(初心者向け)開催(学外) | 3 |
| 知的財産インターンシップ実習開始!! | 4 |
| Q&A:「鳥取大学における情報検索方法について」 | 5~7 |
| 知的財産管理運用部門の情報公開状況 | 8 |

9月の特許相談会

相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】日時：9月11日(木) 13:30より 2カ所で同時開催します。

滝本智之弁理士(電機・機械関係他)

場 所：産学・地域連携推進機構 1階 技術相談室

田中光雄弁理士(医獣・バイオ関係他)

場 所：事務局 3階 第2会議室

特許と技術契約のことは知的財産管理運用部門へ



相談は随時受け付けています。

希望される場合は事前に連絡をお願いします。

相談者：佐々木茂雄 知的財産管理運用部門長

山岸大輔 NEDO 7i0-(コーディネーター)

場 所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門

電 話：0857-31-6000(直通)(内線2765)

F A X：0857-31-5474(専用)

メールアドレス：

知財部門メーリングリスト / chiteki@zim.tottori-u.ac.jp

イノベーション・ジャパン2007・大学見本市

国内最大規模の産学マッチングの場である「イノベーション・ジャパン2007・大学見本市」が、9月12日から14日まで東京国際フォーラムで開催されます。

詳細はHPをご覧ください。右はトップページ。
「イノベーション・ジャパン2007・大学見本市」
URL：<http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/>

[補足説明]

入場は無料ですが、HPにて「来場事前登録」から事前登録をすると入場受付がスムーズに進みます。
事前登録完了後、事前登録完了画面をプリントアウトして、来場時に受付までお持ちください。
1つの登録につき、登録された1名様のみ有効です。

鳥取大学の発表は次のとおりです。

▶ 新技術説明会プレゼンテーション 1 件

- ・成果の名称：「コンドロイチン硫酸資源開拓における魚介類不可食部の有効利用」
- ・説明者：地域学部地域環境学科 田村純一准教授
- ・分野：バイオ・アグリ
- ・発表時間：9月12日(水)13:00～13:30
- ・技術の内容：主に魚介類の不可食部の脱脂物をタンパク分解し、そのままゲル濾過をすることで純度の高いコンドロイチン硫酸を得る精製法を開発した。熱を加えず塩を含まない溶媒で精製できる。従来法に比べ、短時間に高純度のコンドロイチン硫酸が得られる。装置はライン化できるので、自動操作が可能。魚介類の部位によりコンドロイチン硫酸の組成が異なることも見いだしている。

▶ 展示 2 件

成果の名称：「常識を覆す革新的な低騒音化技術」

発明者：工学部 西村正治教授

出展ゾーン：大学ゾーン(研究成果)

分野：環境

技術の概要：本技術は、これまでの常識を覆す新たな低騒音化技術である。(1)「形状」「性状」：風切り音を低減する手段として、植毛などによる表面性状最適化を行う。(2)「囲う」「逃がす」：騒音低減のために囲うのではなく、音を逃がしてこもりをなくす音響透過壁を用いる。(3)「低周波」「高周波」：ANC(Active Noise Control)は低周波の消音に有利とされていたが、シンプル化で高い周波数までの消音にチャレンジ。

成果の名称：「菌根菌を利用した希少ラン科植物の増殖保全技術」

発明者：農学部 岩瀬剛二教授

出展ゾーン：大学ゾーン(研究成果)

分野：バイオ・アグリ

技術の概要：植物の根に共生して菌根と呼ばれる組織を形成し、糖類等の養分の一部を植物に依存しますが、土壌中の水や無機養分等の一部を植物に与える菌類を菌根菌と呼びます。ラン科植物は種子発芽初期だけでなく、緑葉展開後も菌根菌に依存した生活を送っている種が多く、ラン科植物の種ごとに菌根菌の種も異なるため、共生する菌の種類を明らかにすると共に、菌を分離培養によって取得し、適切な共生条件を構築することでこれまで増殖や移植が不可能であったラン科植物の種を保全する技術を開発。



知的財産セミナー開催

学内

対 象：学内教職員・学生、一般
日 時：平成19年9月4日(火) 13:20~15:40
会 場：鳥取大学

【鳥取地区】ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー セミナー室
【米子地区】医学部学務・研究課 会議室(ライブ中継)



内 容：1、開会の辞 研究・国際交流担当理事・副学長：岩崎 正美 (13:20~13:30)
2、イノベーション創出のための今後の知的財産戦略について (13:30~14:30)
講師：経済産業省 大学連携推進課課長補佐(TLO 担当) 加藤 幹氏
3、中国地域における大学発ベンチャーの現状と創出・成長促進に向けた取組み
(14:30~15:30)
講師：中国経済産業局 産学官連携担当参事官室 佐藤 弥氏
4、閉会の辞 産学・地域連携推進機構長：西田 良平 (15:30~15:40)

主 催：鳥取大学 産学・地域連携推進機構 知的財産管理運用部門

お申込方法：知的財産管理運用部門に電話または電子メールで直接お申し込みください。
電話/ 0857-31-6000、e-mail/知財部門メーリングリスト chiteki@tottori-u.ac.jp

お問合せ先：知的財産管理運用部門
電話/ 0857-31-6000、FAX/ 0857-31-5474

知的財産権制度説明会(初心者向け)開催のご案内

学外

対 象：これから知的財産権について学びたい方
新たに企業の知財部門等に配属された初心者レベルの方
日 時：平成19年9月13日(木) 13:30~17:00
会 場：ウェルシティ鳥取 2階「砂丘の間」鳥取市扇町176
定 員：100名(事前申込み制)

参加料：無料

講義内容：知的財産権*制度の概要について(産業財産権関連支援策の概要を含む)
知的財産権*(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)

入門テキストを当日会場で配布します。

講 師：特許庁 産業財産権専門官

主 催：特許庁・中国経済産業局

お申込方法：(社)発明協会 鳥取県支部に直接お申し込みください。
電話:0857-52-6728、e-mail: hatsu@toriton.or.jp

お問合せ先：説明会に関すること 特許庁総務部 普及支援課 地域調整班
電話 03-3581-1101(内 2107)

会場・お申込みに関すること (社)発明協会 鳥取県支部 電話 0857-52-6728
(発明協会鳥取県支部 <http://www.toriton.or.jp/tokkyo/>)





知的財産インターンシップ実習開始!!



平成19年度インターンシップ実習生は本学学生の2名(3年生)です。
すでに事前演習は始まっていますが、今年度は次のとおり10月まで実施します。

【事前演習】

実習日：平成19年8月13日(月)または24日(金)
内容：知財の基礎・特許情報調査のあり方・発明のポイント
対応責任者：鳥取県工業所有権情報・研修館
村上耕一特許情報活用支援アドバイザー
場所：鳥取県工業所有権情報・研修館(8/13)
鳥取大学 特許電子図書館室(8/24)

【実習(1)】

期間：平成19年9月5日(水)から9月7日(金)の3日間
場所：産学・地域連携推進機構 技術相談室(9/5)
鳥取大学 特許電子図書館室(9/6、9/7)

対応責任者：佐々木知的財産管理運用部門長

実習内容：

平成19年度パテントコンテスト(文部科学省他主催)に応募する。
応募を通じて知的財産マインドを醸成するとともに、知的財産権制度に
対する理解を深め、かつこれを体験する。

応募書類の提出(9月18日締切：発明についての説明)

応募書類の審査・選考(選考結果は10月末予定)

優れた発明は表彰され、発明の特許出願書類の作成など弁理士のアドバ
イス(無料)を受け、特許庁へ出願(特許出願料と審査請求料は無料)。

【実習(2)】

期間：平成19年9月25日(火)から10月3日(水)の期間内4日間

場所：) 滝本特許事務所及び大阪府立特許情報センター(大阪市)(9/28)
) 青山特許事務所(大阪市)(9/25~9/27、10/1~10/3)

対応責任者：) 滝本智之弁理士(客員教授) 引率者(佐々木、山岸)
) 田中光雄弁理士(客員教授) 引率者(佐々木、山岸)

実習内容：) 特許事務所オリエンテーション・施設見学等
) 発明の把握・請求範囲の作成ポイント説明
 特許明細書(翻訳文)作成・評価等

【まとめ】

期間：平成19年10月11日(木)
場所：産学・地域連携推進機構 知的財産管理運用部門室
対応責任者：佐々木知的財産管理運用部門長
実習内容：先行技術調査と明細書作成実習報告
作成したレポートの報告と意見交換

Q&A：「鳥取大学における特許情報検索方法について」

Q. 特許の出願を希望しています。最近の特許の出願状況はどうなっていますか？

A. 特許行政年次報告書 2007 年版 < 統計・資料編 > (2007 年 7 月特許庁、右表) には、2006 年までの出願等の件数の統計が記載されています。どの年も膨大な出願件数ですが、特許査定件数となると約 4 分の 1 に減少します。いろいろな理由が考えられますが、その大きな理由の 1 つとして先行技術調査が不十分なために、労力と経費をかけたにもかかわらず断念せざるを得ないケースも多くあります。

特許行政年次報告書 2007 年版 < 統計・資料編 >

(1) 特許

| | 出願件数 | 審査請求件数 | ファーストアクション件数 | 特許査定件数 | 登録件数 |
|-------|--------------------|---------|--------------|---------|---------|
| 1997年 | 391,572 (1,182) | 205,300 | 183,744 | 122,386 | 147,686 |
| 1998年 | 401,932 (1,681) | 208,392 | 216,015 | 129,443 | 141,448 |
| 1999年 | 405,655 (2,069) | 217,389 | 203,117 | 135,412 | 150,059 |
| 2000年 | 436,865 (2,874) | 261,690 | 191,131 | 116,279 | 125,880 |
| 2001年 | 439,175 (2,635) | 253,826 | 196,288 | 107,581 | 121,742 |
| 2002年 | 421,044 (1,986) | 237,345 | 215,288 | 109,720 | 120,018 |
| 2003年 | 413,092 (2,674) | 243,836 | 226,420 | 111,276 | 122,511 |
| 2004年 | 423,081 (3,556) | 328,105 | 234,109 | 112,221 | 124,192 |
| 2005年 | 427,078 (4,443) | 396,933 | 243,548 | 111,179 | 122,944 |
| 2006年 | 408,674 (4,580) | 382,116 | 292,756 | 129,071 | 141,399 |

注1：() 内の数字は、外国語書面で行った出願を内数で示す。

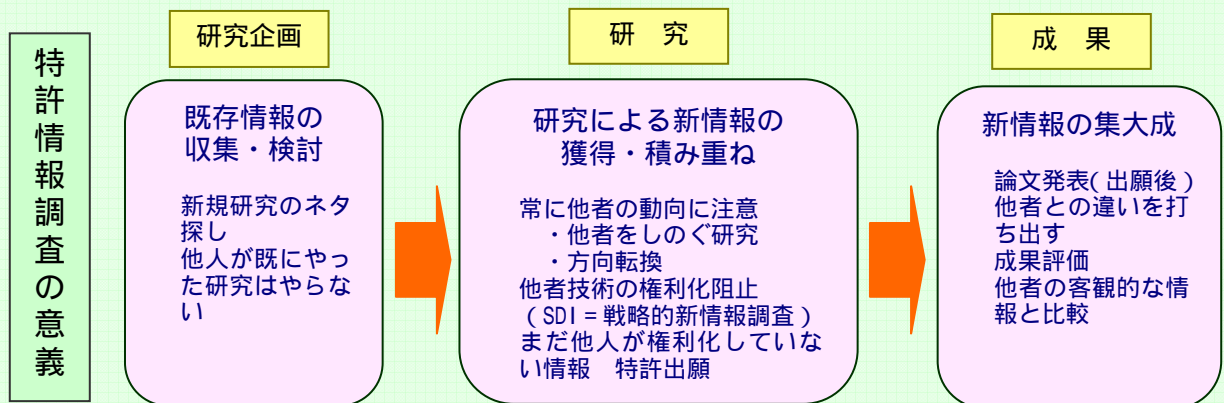
注2：ファーストアクション件数は、審査官による審査結果の最初の通知（主に特許査定又は拒絶理由通知書）が出願人等へ発送された件数である。

注3：特許査定件数には、拒絶査定不服審判請求以降（前置審査を含む）に特許された件数は含まれない。登録件数には、拒絶査定不服審判請求以降（前置審査を含む）に登録された件数が含まれる。

問い合わせ先：方式審査課、調整課、出願支援課登録室

Q. そうすると出願するときには必ず先行技術調査が必要になりますが、もう少し具体的に特許情報調査を行う必要性を教えてください。

A. 特許データベース* で検索して得た特許情報等は、世界的な規模で最新の情報を詳細な内容まで提示してくれます。そして、研究企画時の情報収集、研究時の動向調査、成果発表時の他者との比較など、あらゆる場面で役立つ客観的な外部資料として役立ちます（下図「特許情報調査の意義」参照）。



[知財ニュース 11 号(知的財産センター刊、H17.7 月号)Q&A「特許データベース」から転載]

* 特許データベースとは、特許庁に出願された特許や権利になった特許のデータベースの意。

(独) 工業所有権情報・研修館が運営している特許電子図書館は日本特許のデータベースです。特許電子図書館には、特許の他、実用新案権、意匠権、商標権のデータも含まれます。また、特許に関しては民間機関などでも有料のデータベースを提供しています。これについては、知財ニュース 11 号(知的財産センター刊、H17.7 月号)の Q&A「特許データベース」に詳細を記載しています。

Q. 特許情報の検索をする場合には、具体的にどのような方法があるのですか？

A. 特許情報検索の方法としては、次の二通りがあります。

- 1) どこからでもできる特許情報 Web 検索方法
- 2) 鳥取大学が登録している特許情報 Web 検索方法

Q. それでは、1) どこからでもできる特許情報 Web 検索方法について教えてください。

A. インターネット環境があるところであれば、前頁の特許データベース説明文中の特許電子図書館 (Industrial Property Digital Library、以下「IPDL」と表します。)を利用して、特許・実用新案権・意匠権・商標権等のデータを誰でも検索 (無料) できます。特許の場合は、「特許・実用新案検索」メニューから「公報テキスト検索」「FI/Fターム検索」他、検索メニューが分かれていますので必要なデータが入手できます。初めての方でも「初心者向け検索」メニューがありますので大丈夫ですよ。(鳥取大学には「IPDL」の専用端末機を設置していますが、これについてはまた) 特許電子図書館 (IPDL) 専用端末機による検索サービスで説明します。)

Q. このほかにもこの1) の範疇にある特許情報 Web 検索方法がありますか？

A. 民間機関なども有料のデータベース (株式会社パトリス / 特許のデータベース [PATOLIS-IV] を中心とした特許情報の提供、他) を提供しています。また、世界の特許を集めたデータベースも存在します (米国の Dialog というデータベース、EPO のデータベースは無料、他)。

Q. 次に、2) 鳥取大学が登録している特許情報 Web 検索方法について教えてください。

A. 鳥取大学が登録し利用している特許情報 Web 検索方法は、次の3つです。

-) JP-NET サービス
-) 特許・文献統合データベース (JSTPatM)
-) 特許電子図書館 (IPDL) 専用端末機による検索サービス



Q. では順番にお尋ねします。) JP-NET サービスとはどのようなサービスですか。

A. JP-NET は、日本特許サービス株式会社がインターネット上で日本特許/実用新案 (公開・登録・公告・公表) とアメリカ特許明細書、審査経過情報、意匠、商標、公開・国際商標、審決公報を含めた全件データを提供するサービスです。これ以外にも有料で提供されている特許情報データベースがありますが、知的財産管理運用部門では平成19年1月から「日本特許・コマンド検索・JP-MAP」を利用 (有料) して特許情報検索をしています。

Q. JP-NET の特徴について教えてください。

A. JP-NET の主な特徴は次のとおりです。

- ・国際特許分類・出願人・発明者等の他、キーワードから高速検索エンジンによるハイパーテキスト (HTX) 検索が行えます。
- ・1000 件以内の検索結果に対して、任意に入力した全てのキーワードで検索する事ができます。近傍検索もでき、複数のキーワードを含んだ文章を調べる事が可能になります。
- ・特許庁発行の整理標準化データを利用し、審査経過情報を検索キーにして特許・実用新案公報を検索する事が可能です。最新経過情報に対する中間履歴検索等も行えるため、検索の幅が広がりました。
- ・最大 2,000 件の連続出力が可能。目次・要約抄録・JP抄録・三件抄録・フロント頁・全文明細書等の多彩な印刷形式を選択できる他、PDF 出力機能を搭載 (専用ソフト不要、1 件 1 ファイル作成も可能)

JP-NET サービスは月額完全固定制 (鳥取大学の場合は ID とパスワードを取得) で、経済的で容易に検索や連続印刷ができます。

Q. 次の、) 特許・文献統合データベース (JSTPatM) というのはなんですか？

A. 特許・文献統合データベース (JSTPatM ジェイエスティパットマルチ) は、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の文献情報データベースサービス(有償)である JDreamII のインフラを用い、大学等 (大学・大学共同利用機関・高等専門学校) 向けに「特許・文献情報統合検索システム」として無償提供されているものです。平成 19 年 4 月から鳥取大学も登録していて、附属図書館 HP からログインし利用できるようになりました。この詳細は、知財部門ニュース第 3 号 (H19 年 6 月刊) に詳しく記載していますのでそちらをご覧ください。

Q. 最後の、) 特許電子図書館 (IPDL) 専用端末機による検索サービスは、1) どこからでもできる特許情報 Web 検索方法とどこが違うのですか？

A. 「IPDL」については、「1) どこからでもできる特許情報 Web 検索方法について」の項で、その内容はお話ししました。誰でもどこからでも利用できるので便利ですが、逆にアクセスする利用者が多いので繋がりにくくなり待ち時間も多くなる等、使い勝手が良いとは言えませんでした。そのため、鳥取大学では工業所有権・研修館から特許電子図書館の専用端末機を平成 17 年 6 月に導入 (有料) してこのような状況を改善しました。現在特許電子図書館室は大学院工学研究科 1 階にあり、事前予約の上利用していただいています。(連絡先：知的財産管理運用部門/内線 2765)

Q. 特許電子図書館専用端末機の特徴を教えてください。

A. 特許電子図書館専用端末機の特徴は次のとおりです。

待ち時間なしに繋がる。(専用回線)

表示ディスプレイが大きくて見やすい。

8 頁分を一度に印刷できます。(専用端末機以外では 1 頁ずつ)

要約を印刷した場合、専用端末機以外では打ち出せない情報が出ます。

そのほか、希望者には鳥取県工業所有権情報・研修館から特許情報活用支援アドバイザーを迎え、更に詳しい特許情報を入手できるような対応をしています。

Q. これからも現在の特許情報データベースをすべて利用するのですか？

A. そうですね、「IPDL」専用端末機を導入した頃と鳥取大学の特許情報検索環境が大きく変わり多くの情報が無償で入手できるようになったので、当然現在利用している有料の特許情報データベースを利便性や経費面等から見直す必要が出てきました。

Q. 今後の特許情報 Web 検索方法はようになりますか？

A. 見直しの結果、特許電子図書館については個々のパソコン等で利用していただき、特許電子図書館の専用端末機については平成 19 年 12 月で利用を中止する予定です(他のデータベースの利用は継続)。

そして、今まで特許電子図書館室として使用している工学部大学院棟 1 階の部屋には、JP-NET サービスを利用するためにパソコンとプリンターを設置し、迅速かつ正確にデータを入手できるようにします。また必要ならば使用に関する講習会も開催したいと思っています。その場合には電子メールや知財部門ニュースで全学にお知らせしますので、是非参加してください。

知的財産管理運用部門の情報公開状況

平成16年6月に開設した「鳥取大学知的財産センター」から、平成19年4月に「産学・地域連携推進機構」の一部門として生まれ変わった知的財産管理運用部門は、今までの業務内容に加え、本学の研究成果である知的財産を地域社会に還元することも踏まえた活動を推進しています。組織が改編されたこともあり、情報公開の方法や内容を変更しました。また、知的財産制度の啓蒙や知的財産の活用を推進すべく、鳥取県とも連携した情報公開も行っています。今月は、これらをまとめてご紹介します。是非一度、ご覧ください。

■ 知的財産管理運用部門ホームページについて

旧年度までの知的財産センターHP から産学・地域連携推進機構ホームページ に、内容を移転・更新致しました。従って年度当初の産学・地域連携推進機構 HP が開設する間、知的財産管理運用部門ニュース等を掲載する目的で旧知的財産センターHP を一時的に継続使用していましたが、現在は削除しています。

[鳥取大学産学・地域連携推進機構 HP
<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>]



■ 知的財産管理運用部門の内容について [TOP ページ CONTENTS (画面左) 別に説明]

- ・ 知的財産について
 知的財産権の簡単な説明や、本学教職員が出願する場合の手続き等を掲載しています。
- ・ 機構の案内 / 知的財産管理運用部門
 部門の紹介や定例特許相談会、新着情報や毎月発行している知財部門ニュース等を掲載しています。

| 知的財産について | 知的財産管理運用部門 |
|---|---------------------------------|
| ① 知的財産権とは (intellectual property) (知的財産権) | ① 知的財産管理運用部門の紹介 |
| ② 出願までの流れ (本学教職員等のみによる国内出願の場合) | ② 新着情報 |
| ③ 発明を為した教職員等がとる手続 | ③ 知的財産セミナー |
| ④ 学内規則等 | ④ 定例特許相談会 |
| ⑤ 知的財産関連情報 | ⑤ スタッフの紹介 |
| ⑥ ととりの知的財産 | ⑥ 鳥大知財部門ニュース |
| ⑦ ライセンス情報 一覧 | ⑦ 知的財産管理運用部門連絡先 |
| | ⑧ 知的財産関連リンク集 |

■ 鳥取県知的財産ポータルサイト (<http://www.tottorichizai.com/>) について

(管理者：鳥取県商工労働部産業開発課、平成19年5月開設)

鳥取県内各機関の知的財産に関するイベント等の情報の発信や県内技術の検索に活用されることを目的に、鳥取県が開設したサイトです。『使ってみたい鳥取県版特許集』(鳥取県知的所有権センター刊、バナー広告)では、当部門が鳥取大学の取纏めをしていますので、シーズの掲載または配布の希望があればご連絡ください。

